

東海地震対応マニュアル検証訓練実施報告



日時 平成27年2月24日(火)午後1時から5時まで

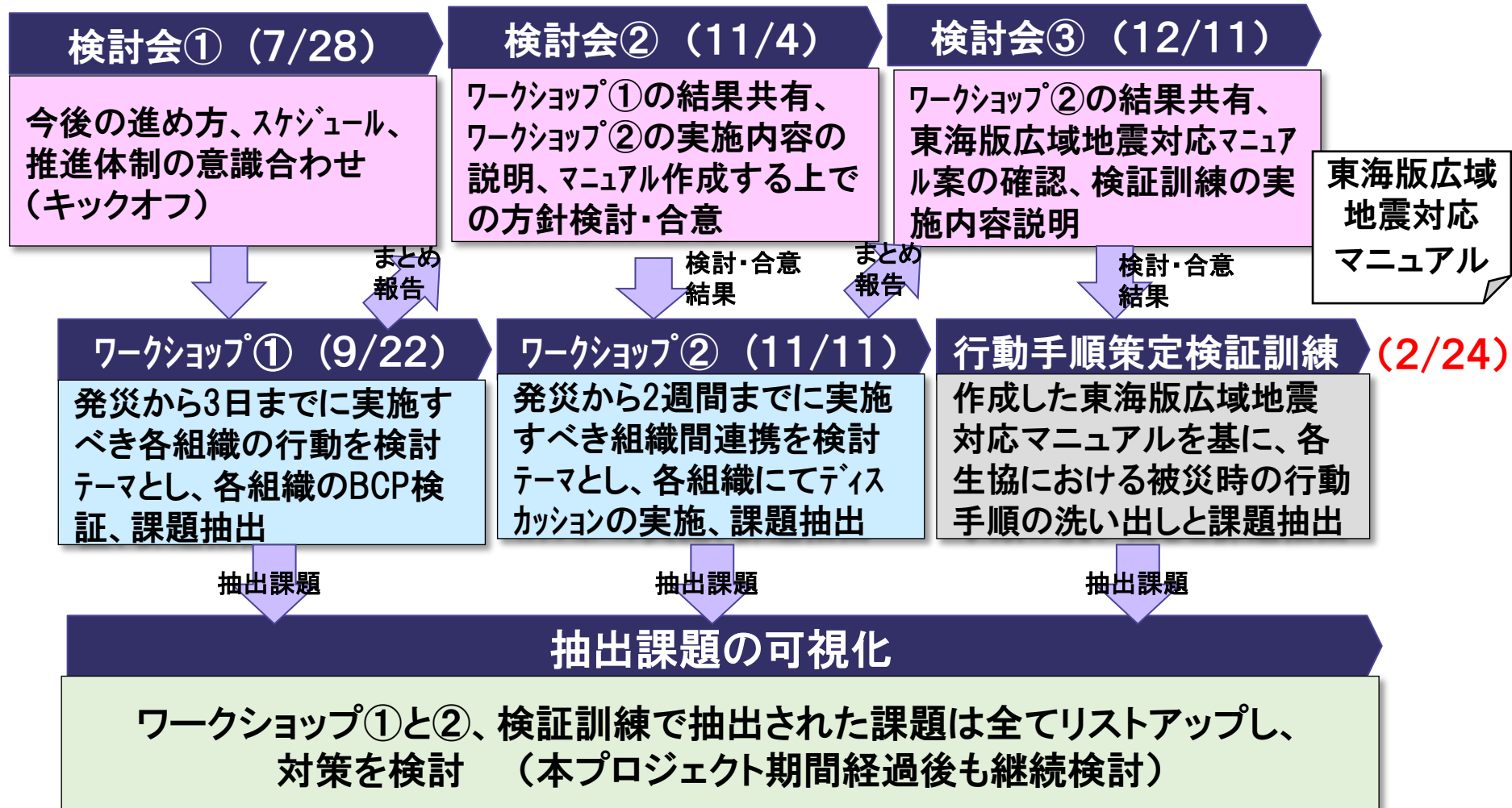
場所 法研中部ビル 久屋大通店名古屋8階会議室
名古屋市中区丸の内三丁目7番19号

参加者 63名(生協・県連39名、日本生協連関係14名、行政4名、その他6名)

ユーコープ8名、トヨタ5名、東海コープ9名、コープあいち5名、コープみえ1名、コープぎふ1名、かりや愛知中央1名、愛知県職員1名、愛知県生協連2名、静岡県生協連1名、岐阜県生協連1名、三重県生協連2名、名古屋市民火災共済1名、大学生協東海事業連合1名、日本生協連9名、CXカーゴ5名、愛知県県民生活課1名、愛知県防災局2名、名古屋市消防局1名、名古屋工業大学1名、(株)富士通総研5名

東海地震対応マニュアル策定プロジェクトについて

- プロジェクトでは、東海エリアにおいて地震が発生した場合の各組織の対応について記載したマニュアルを作成する。
- 作成したマニュアルを基に、各生協が被災時に使用する行動手順の作成を行い、課題の抽出、対策の実施、マニュアルへの反映に繋げる。



【全国生協BCP基本方針】

- ①何よりも人命を優先に、行動の判断を行う。
- ②初期行動として、被災の状況把握と合わせ、被災地に支援物資をいち早く届けることに最大限努力する。
- ③限りある人的・物的資源を、被災地及び被災生協支援に優先的に配分する（CO・OP商品の優先配分を含む）。
- ④全国生協災害対策本部の指揮のもと、全国の生協が連携・協力し、より被災地の実情に合わせた支援活動を展開する。
- ⑤全国の生協の力をあわせ、災害発生に備えた内部留保充実、緊急募金・カンパなど資金面での協力も行う。



未曾有の被害が想定されている「南海トラフ巨大地震」に対して、東海エリアで活動している生協・事業連合・県生協連・日本生協連が連携して、概ね発災から2週間を目標復旧時間までと想定して、被災地・被災者支援や事業継続・事業再開について「東海地震対応マニュアル」として定めた。

時間		内容		担当
5分		開会の挨拶		日本生協連 常務執行役員 藤井喜継
65分	10分	<第一部> シミュレーション 訓練	実施概要説明	(株)富士通総研 全員
	55分		訓練の実施	
90分	60分	<第二部> マニュアルの検証	検証項目の確認、課題抽出	
	30分		検証結果の共有(発表)	
10分		第一部・第二部を踏まえて(コメント)		(株)富士通総研
35分	20分	<第三部> 生協間連携訓練	生協間連携の検討、課題抽出	全員
	15分		検討結果の共有(発表)	
10分		総評		ユーコープ 執行役員 朝原隆充 トヨタ生協 理事 竹内 雅俊 東海コープ 執行役員 駒井義明
5分		今後の作業について		(株)富士通総研
15分		生協に期待すること(講評)		名古屋工業大学 渡辺研司教授
5分		閉会の挨拶		日本生協 連執行役員 青竹豊

グループ分け

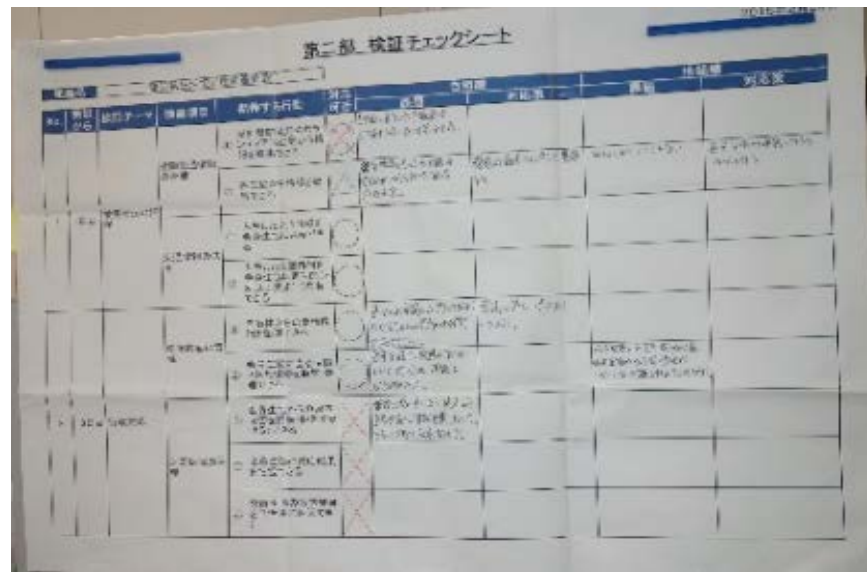
- ①-1ユーコープ(桜木町)、①-2ユーコープしずおか、②トヨタ生協、③東海コープ、④コープあいち(コープぎふ/コープみえ)、⑤県生協連(静岡/愛知/岐阜/三重)、⑥日本生協連/CXカーゴ

13:00～開会の挨拶

日本生協連 事業推進 常務執行役員 藤井喜継

13:05～第一部シミュレーション訓練実施

第一部では、発災直後からの各組織ならびに組織間連携の対応を模擬的に体験し、第二部では、マニュアル通りに各組織が実施すべき事項、検証項目について討議し主な課題や対応策についてそれぞれ発表しました。第三部では、生協間連携について討議、検討し課題の抽出を発表し、組織間連携の必要性を理解。



検証訓練から、商品調達強化、物流整備、燃料確保、自助支援などの様々な課題に対して、生協・事業連合・県生協連・日本生協連との間での連携の訓練を継続的に進めていくことが必要。



14:10～第二部マニュアルの検証

検証項目の確認、課題抽出、検証結果の共有(発表)



15:50～第三部生協間連携の検討

生協間連携の検討、課題抽出



「サプライチェーンを通じた取組みの重要性と生協に求められるもの」

ネットワーク型社会における相互依存性の増加
『点』から『線・面』へ、そして『層』へ

ネットワーク型社会の脆弱性と共通プロトコール(規定)の重要性

個別組織の
レジリエンス



組織間の関係性を考慮した
レジリエンス



<視点の例示>

- 企業・企業グループ
- 中央省庁・地方自治体
- 公的機関
- NPO・NGO

<視点の例示>

- 取引先・サプライチェーン
- 行政
- 業界団体・経済団体

社会的な階層を考慮した
レジリエンス

<視点の例示>

- 地域社会
- 官民協業
- 国家安全保障
- 国際間競争

* レジリエンス(resilience): しなやかな復元力/弾力性のある回復力

16:55~閉会の挨拶

日本生協連 管理本部 執行役員 本部長 青竹 豊

このマニュアルは、今後とも様々な条件・知見・進捗状況を踏まえ、訓練などの検証も実施しながら、継続的に見直しを進めていく必要がある。



名古屋工業大学
渡辺研司教授

